

海外短信



久保 貴義*

中国（上海）の豆知識

I．はじめに

上海に赴任してあつと言う間に一年が過ぎました。

2014年3月24日、長崎発13:00 上海着13:35の中国東方航空(MU520)便で三度目の中国渡航。一度目は1997年11月に長崎北高の修学旅行で北京を訪れ、二度目は2013年12月に十八銀行の中国研修で上海を訪れました。二度目の入国から3か月で三度目の中国。当然一人で中国に入国するのは初めてだったので緊張しました。春先の上海、朝夕はまだまだ薄手のコートが必要だったのを覚えています。

2014年4月1日から一年間、みずほ銀行上海[正式名称:瑞穂銀行(中国)有限公司 上海本店]にて研修生として銀行業務に携わり、その後本年4月1日より長崎県上海事務所勤務しております。私は長崎県の地方銀行である十八銀行の職員であり、出向者として勤務しております。

今回、私が一年間で実際に経験したことや教わったことをご紹介させていただき、少しでも中国(上海)に興味を持っていただければ幸いです。

II．中国の基本データ

日本とは地理的にも歴史的にも非常に関わりの深い中国。ご存知の内容もあるかもしれませんが、中国について簡単にまとめます。

1．人口

人口約13億8,560万人¹。言わずと知れた世界第一位の人口です。農村部などでは戸籍登録されていない人がいるとも言われ、実際には15億人ともそれ以上とも言われています。

2．面積

面積は約960万km²で日本の約26倍、世界の陸地の約6.5%を占めています。東西にも南北にも広い中国ですが、中国全土で共通時間を採用しており、中国国内で時差はありません。時差は日本-1時間で、日本時間10時=中国時間9時となります。2015年の元旦を雲南省昆明(上海から西へ約2,000km)で過ごした私の友人は今年の初日の出を朝9時に拝んだそうです。

3．首都

首都是北京。秋田県と同じ緯度であり、ちなみに上海は鹿児島県と同じ緯度となっています。なお人口が最も多い都市是北京(約2,100

*長崎県上海事務所副所長

万人)でもなく、上海(約2,400万人)でもなく、中国の内陸に位置する重慶(約3,300万人)です。

4. 通貨

通貨は人民元。1元=約20円²となっています。中国でも価格表示に“¥”マークを使用します。人民元の中国語表記は「人民币」、発音記号(ピンイン)は「ren min bi(レンミンピー)」と書くため、人民元のことをしばしば「RMB(レンミンピー)」と表記することもあります。

5. 言語

言語は中国語「普通话 pu tong hua(プートンファー)」と言います。その他に上海語や広東語などの方言があります。中国には少数民族が55いるとされており、各民族の方言があるとも言われているため、方言の種類がいくつあるかは不明です。

日本のお笑い芸人ナインティナインの岡村隆氏主演の映画で「無問題=モー マン タイ」という作品がありますが、モー マン タイは広東語です。普通话で問題なしという意味の漢字は“没问题=メイ ウェン ティ”となります。全く発音が異なりますので、各方言は中国人同士でも分からないと言われています。

中国国家統計局の調べによると、中国全人口のうち30%の人が方言しか話せないと言われており、また普通话が話せる70%の人のうち、比較的流暢に普通话を話せる人は10%と言われています。

中国語の漢字については中国・シンガポールで利用される簡体字と香港・台湾などで利用される繁体字の二種類があります。繁体字は日本の漢字と近いです。例：東京(日本語) 东京 dong jing ドン ジン(簡体字) 東京 dong jing

ドン ジン(繁体字) 空港(日本語) 机场 ji chang ジー チュアン(簡体字) 機場 ji chang ジー チュアン(繁体字)

Ⅲ. 中国のネット環境

中国には様々なインターネットの規制があり、世界で14億人以上が利用している Facebook や YouTube、Google、Gmail、LINE などが使えなかったりします。LINE については中国のアカウント(中国の電話番号)だと全く利用出来ませんが、日本のアカウント(日本の電話番号)かつ機種がアンドロイドであれば中国内でも利用出来るようです。一方で、日本のアカウントであっても機種が iPhone だと利用出来なかったりします。この様にネット規制が多い中国において、駐在員・中国人の方々がどのようにネット利用をしているのかを本項目で紹介합니다。

1. インターネット

新華網(<http://www.xinhuanet.com/>) 国営通信社である、新華社のサイトで、中国のニュースサイトでは歴史、重要度ともにトップレベルです。重要な政策発表は新華社を通じて布告されるようになっています。

人民網(<http://www.people.com.cn/>) 中国共産党機関紙「人民日報」のサイトで、内容は新華網と大差はないですが党の政策方針や歴史などを特集したコーナーがあります。また「日本頻道」という日本関係のニュースのみを集めたページがあり、中国メディアが日本のどのようなニュースに注目しているかを確認するのに便利です。

百度(<http://www.baidu.com/>) Google とほぼ同じ様なサイトで、中国では最もメジャーな検

索サイトの一つとなっています。検索はもちろんのこと、地図や乗換案内などの情報も提供しています。ウィキペディアの様なオンライン百科事典“ 百度百科 ”も運営しています。

2. アプリ

(1)「微信 wei xin ウエイ シン」WeChat とも呼ばれているこのアプリは中国語版 LINE として多くの中国人及び駐在員に利用されています。機能は LINE とほとんど同じで、タイムラインがあったりグループチャットが出来たりします。また、下記にも記載しますがタクシー代の支払も出来たりします。唯一異なる点は「既読」機能がないという点ぐらいです。中国では LINE が普及する前に微信が浸透していたと聞いていますので、中国人は LINE が使えないことに対する抵抗はあまり無いようです。

(2)その他に音楽アプリ：「酷狗音楽」、動画アプリ：「BBINFO-i」などがあり、中国では無料で音楽や動画をダウンロードすることが出来ます。

(3)買物アプリ：「淘宝 tao bao タオ バオ」などヤフーオークションの様な買物アプリもあります。中国でもネットショッピングは盛んです。中国の電子商取引最大手のアリババグループは2014年11月11日「光棍節」(独身の日)に合わせ割引イベントを実施しました。この一日だけで571億元(約1.1兆円)を売上げ、そのうちモバイル端末からの取引額は243億元(約5,000億円)あったそうです。11日0時のイベント開始から爆発的な勢いを見せ、わずか75秒で1億元(約20億円)を突破したと言われています。

(4)タクシーアプリ(上海限定)：「滴滴打车」「快的打车」はタクシーを利用する際に便利です。上海ではタクシーがなかなか捕まらない時

間帯などにタクシーアプリが大活躍しています。GPS 機能を利用し近隣のタクシーが駆け付けるサービスです。支払方法は滴滴打車が「微信(中国版 LINE)」と提携、快的打車は電子商取引最大手アリババグループの「支付宝钱包」というアプリと提携し、現金での支払はなくアプリ上での決済を行うようになっています。

IV. 中国ビジネスについて

中国でビジネスを始めるにあたって、頭の片隅に置いておく程度の内容を豆知識として記載いたします。日本人が中国でビジネスを行っていくことは商慣習の違い・文化の違いなどにより非常に難しいとされています。当地中国(上海)で事業を立ち上げている日本人は沢山いますし、日系企業中国現地法人の社長(総経理)として日本から中国(上海)に派遣されている方も多いです。皆さん三者三様で苦労されていると伺っています。

1. 販売について

(1)「安かろう、そして、“ちょっと”悪かろう」を考えられるか。

日本人は不良品について抵抗がありますが、中国の場合は少々品が悪くても安ければ買うという文化があることも確かです。

逆にしっかりとした製品であれば、少々高くても購入するという文化もあります。iPhone³やユニクロが売れるのもその考えからきているのかもしれない。中国のユニクロ価格は日本の約2倍となっています。日本価格からゼロを取った価格が元価格となっていることが多いです。例えば日本のユニクロでトレーナー1枚2,990円、スエット上下3,990円で販売されてい

たとすると、全く同じ商品が中国ではトレーナー1枚299元(約5,980円)、スエット上下399元(約7,980円)で販売されています。中国においてユニクロ商品は高級品です。

(2)「後払いなら売れる」、という現実はどう対峙するか。

中国では支払の遅延・長期化は当たり前です。販売先へ支払を融通することが出来るかどうかは製品・商品の販売のコツであったりもします。支払サイトが長ければ長いほど仕入(購入)業者に喜ばれます。中国では支払サイトの長期化が顕著となっています。そのため、中国でも取引信用保険が普及しています。

(3)中国では所得上位1%が富の3割を保有

中国では沿岸部にも内陸部にも各所得層が混在しており、富裕層のみの街はないと言われています。また、所得格差として言われているのが、「所得上位1%の人が中国の富(個人資産)の3割超を占め、所得下位25%の人が持っている中国の富はわずか1%」だそうです。やはりお金持ちをターゲットとした商売のやり方は避けては通れないことなのかもしれません。

(4)“ブランド力”の維持 農村地区での販売都会(沿岸部)でしか買えないものだからこそ、中国人は購入する。どこでも(田舎でも)買えるものは買わないという傾向も見られます。

(5)“おまけ”に弱い国民性?

「二個買ったら一つおまけ」・「二個目は半額」など、この様な販売形態を取っている店や商品は意外と多いです。おまけに弱い国民性ということを考慮すれば、当初の価格設定についても検討が必要だと思われます。

(6)ポップ広告(ポスター)が好まれる?

中国では“派手だけど分かりやすい広告”が主流となっています。また広告で注意すべき点

としては簡体字と繁体字を使い分けることとされています。中国人は簡体字も繁体字も識別出来る人がほとんどですが、中国人(中国大陸)向けの広告とする場合、繁体字を使用することは望ましくないそうです。なぜなら前述している通り、繁体字は香港・台湾で使われている字だからです。「郷に入れば郷に従え」という考えが強い国民性でもあります。

2. 中国人の雇用について

(1)日本:分かりあえて当然の文化 中国:分かりあえなくて当然の文化

日本と中国ではそもそも文化が違いますので、雇用する側(日本人)、される側(中国人)ともに共通認識を持てるルールを制定することが必要です。

(2)日本:過程 中国:成果

日本は成果よりも過程を重視する傾向にありますが、中国(人)は成果主義の社会となっています。

(3)報酬に対しては公平かつ明確な方針を

報酬に対しては公平かつ明確な方針が必要と言われています。中国人スタッフ同士、職位等に関係なくお互いの報酬を教え合うので、中国では他人の報酬をみんなが知っています。また、毎年昇給することが当たり前の社会となっていますので、新雇用者・長期勤続者ともに納得が出来る公平かつ明確な方針を立てておく必要があります。

(4)離職率の高さだけを気にしない

中国では転職が当たり前です。中国人は、特に報酬面での条件が良い職場があれば躊躇なく転職する人が多いです。皆さんもご存知かと思いますが、春節(旧正月)に実家に帰ったまま、春節明けに職場復帰しない人もいます。「主要ポストの人材(マネージャーポスト)回転が

ストの人材（工場員）」と割り切ることも必要です。また、離職（退職・転職）をある程度予想して人材を確保しておくことも考えなければなりません。

V．中国での流行ネタ

上海に住んでいる（領事館届け済み）日本人は8万人⁴と言われていますが、出張ベースなどの人や旅行者なども含めると10万人を超えるとも言われます。上海市内には日本人街の様なところもあり、通りには平仮名・カタカナの看板が目につきます。日本人にとって上海は海外の中でも住みやすい都市のうちの一つだと思います。上海には中国駐在歴が長い人も沢山おり、その諸先輩方から中国についての興味深い話を色々聞くことが出来ます。そのうちのいくつかを紹介します。

1．中国経済の比喩“高校3年生”

「高校3年生で身長（経済）の伸びは止まり、見た目（経済規模）は大人（先進国）とほぼ同じであるが、考え方・経験は乏しい。」今の中国経済を簡単に表すなら、高校3年生と言われている。

2．日系企業中国現地法人、社長（総経理）の悩み“OKY・OKO”

OKY・OKOは総経理同士の会話の中でよく出てくる単語と言われています。

OKY：お前が来て やってみろ！…中国でビジネスを行っていくことの難しさを日本サイドは理解してくれていないという悩みから作られたワードです。主に中国実務を知らない日本本社の人に向けたワードとなっています。

OKO：お前 ここに おったやろ！…中国

から日本に帰任した前任者に向けたワードです。中国ビジネスの難しさを一番理解してくれているはずの前任者が、日本に戻ってしまうと現場（中国現地）の意向をなかなか汲み取ってくれないという悩みから作られたワードです。「おったやろ！」という言い方から、このワードを思い付いた人は西日本地区の方ではないかと思われれます。

3．タクシーでの会話“怖い(こわい)快 kuai クアイ”

中国の交通マナーはお世辞にも良いとは言えません。そして、タクシーは運転が荒いです。タクシーの中でつい「怖い」と発言しそうになりますが、「怖い」と言うのは避けた方がいいと言われています。中国語に「快 kuai クアイ = 急げ」という単語があります。日本語の「怖い」と発音もイントネーションも似ていますので「怖い」と言ってしまうと、更に荒い運転になることもあるので注意が必要です。

4．中国の男女比

中国の男女比は男：女 = 110：100と言われています。一人っ子政策の影響だと思われれます。

5．上海浦東空港

長崎 上海の直通便が発着する浦東空港の建設費用は約1,800億円。そのうち約400億円が日本からの円借款です。浦東空港には「日本の支援（円借款）により建設した」という証明書プレートが飾られています。浦東空港を利用の際は是非探してみてください。

VI．おわりに

日本、特に長崎とは距離的に非常に近い中国

(上海) 距離的には近いものの、外国であるため習慣も文化も考え方も全く異なります。中国(上海)生活は1年とまだまだ短く、これから引き続き言語も含め中国の習慣・文化をさらに吸収していきたいと考えています。

今回紹介させて頂いた内容は実際に私が体験したことや聞いたことです。「中国(上海)ではそんなこともあるんだ、中国(上海)とはそんな場所なんだ」と今回の内容が皆様の頭の片隅に少しでも残ったら幸いです。

長崎と上海の間には週2便、直行便の飛行機(東方航空)が飛んでいます。また、佐賀県からはLCC(春秋航空)便も週3便飛んでいます。皆さんも是非中国(上海)に足を運んでみてはいかがでしょうか？

注

- 1 外務省 HP
- 2 2015年4月現在 以降元換算は1元=20円にて計算。
- 3 iPhone 6の平均相場は約6,000円(約12万円)
- 4 2013年度時点。2014年以降、日系企業の中国投資一巡及び、中国経済停滞等から駐在日本人は減少していると言われている。